

アジア・ヘルスケア株式ファンド

運用報告書(全体版)

第12期(決算日 2020年12月21日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「アジア・ヘルスケア株式ファンド」は、2020年12月21日に第12期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式
信託期間	2015年1月16日から2024年12月24日までです。
運用方針	主として、アジア(日本を除きます。)各国の金融商品取引所に上場されている医療関連企業の株式(これに準ずるものを含みます。)を投資対象とする投資信託証券(投資信託または外国投資信託の受益証券(振替投資信託受益権を含みます。))および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。)の一部、またはすべてに投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド(JPYクラス)」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

<642681>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時~午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	み 金 騰 落				
	円	円	%	%	%	百万円	
8期(2018年12月21日)	6,848	0	△22.9	—	98.5	12,890	
9期(2019年6月21日)	6,718	0	△1.9	—	98.5	11,819	
10期(2019年12月23日)	7,241	0	7.8	—	98.8	11,316	
11期(2020年6月22日)	9,240	0	27.6	—	98.8	12,814	
12期(2020年12月21日)	11,022	0	19.3	—	98.5	12,841	

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

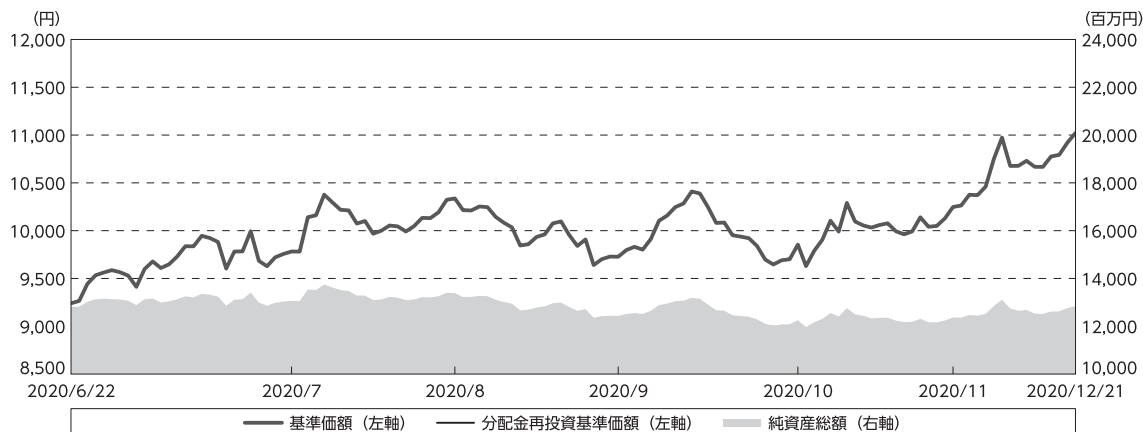
年 月 日	基準価額		投 資 信 託 組 入 比	券 率
	騰 落	率		
(期首) 2020年6月22日	円 9,240	% —	% 98.8	% —
6月末	9,565	3.5	98.2	—
7月末	9,782	5.9	98.2	—
8月末	10,337	11.9	98.7	—
9月末	9,727	5.3	98.7	—
10月末	9,854	6.6	98.9	—
11月末	10,248	10.9	98.7	—
(期末) 2020年12月21日	11,022	19.3	98.5	—

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2020年6月23日～2020年12月21日)

期中の基準価額等の推移



期首：9,240円

期末：11,022円 (既払分配金 (税込み) : 0円)

騰落率：19.3% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首 (2020年6月22日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を除くアジアの金融商品取引所に上場されている医療関連企業の株式を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・世界各国の経済活動が再開したことや緩和的な金融情勢を巡る楽観的な見方が新型コロナウイルスの感染拡大第2波に対する懸念を上回り、アジアの株式市場が反発したこと。
- ・2020年7月に、今年最大のヘルスケアの新規株式公開となった韓国のバイオテクノロジー・製薬会社が上場し、好調なりターンをもたらしたこと。
- ・新型コロナウイルスのワクチン開発に進展が見られたことや、複数の国において経済指標が市場予想を上回ったこと。

<値下がり要因>

- ・医薬品およびステントや整形外科用インプラントといった高価格な医療消耗品への価格押し下げ圧力を巡る懸念が高まったことから中国の銘柄が軟調に推移したこと。
- ・2020年9月に、世界の景気回復が失速するとの懸念から、利益確定売りの展開となり株式市場が軟調に推移したこと。

投資環境

(アジア株式市況)

期間中のアジアのヘルスケア市場は堅調に推移したものの、アジア株式市場をアンダーパフォームしました。投資対象国の中では韓国のパフォーマンスが良好でした。

期間の初めから2020年8月下旬にかけては、世界各国の経済活動の再開や緩和的な金融情勢を巡る楽観的な見方、また世界各国による新型コロナウイルスのワクチン開発の進展が追い風となってアジアのヘルスケア市場は堅調に推移しました。中国では、医薬品受託開発・製造企業／医薬品開発業務受託機関が、売上高と利益がともに市場予想を上回るなど上期の決算が好調な結果となったことを受けて、株価が相対的に堅調に推移しました。韓国では、バイオ医薬品分野において良好なニュースが相つぎ、同国の製薬会社によるライセンス契約締結がポジティブサプライズとなったほか、血液がん治療のバイオ後続品（バイオシミラー）の米国市場シェア拡大を受け、同国のバイオテクノロジー企業の業績が市場予想を上回りました。9月に入ると、世界の景気回復が失速するとの懸念を受けて利益確定売りの展開となりました。中国のヘルスケア市場は、年末に向けて多くの医薬品や機器の入札が開始されるなか、医薬品およびステントや整形外科用インプラントといった高価格な医療消耗品への価格押し下げ圧力を巡る懸念が高まったことを受けて、利益確定売りが見受けられました。10月から期間末にかけては、新型コロナウイルスのワクチン開発に進展が見られたことや、ジョー・バイデン米国次期大統領の指揮下で米国とアジアの関係改善期待が高まったこと、複数の国において経済指標が市場予想を上回ったことが追い風となり、アジアのヘルスケア市場は堅調に推移しました。

(国内短期金利市況)

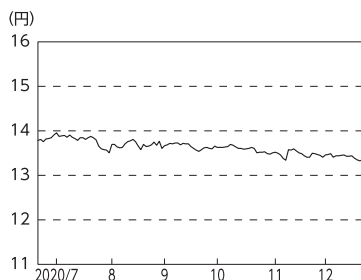
無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.05%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.02%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.10%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.10%近辺で期間末を迎えました。

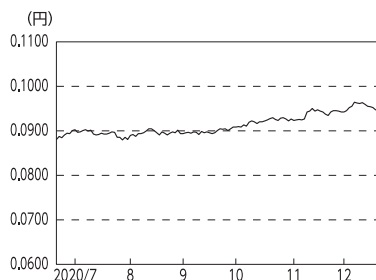
(為替市況)

期間中における主要通貨(対円)は、下記の推移となりました。

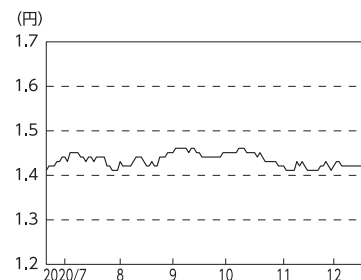
円／香港ドルの推移



円／韓国ウォンの推移



円／インドルピーの推移



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド(JPYクラス)」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド(JPYクラス))

韓国については、銘柄選択がプラスに寄与するなか、一部の銘柄で利益確定売りを実施しました。中国についても、バイオテクノロジー、オンラインヘルスケア銘柄の売却から得た利益で消費者向けヘルスケア銘柄の買い増しを行ないました。

当ファンドでは、医薬品企業の保有比率を維持しつつ、バイオテクノロジーを引き下げる一方、ヘルスケアプロバイダーの保有を引き上げました。タイの病院についてはポジティブな見方を継続しているものの、アセアン諸国の投資比率は引き続き低めとしました。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第12期
	2020年6月23日～ 2020年12月21日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,022

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、「日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）)

2020年11月の初めに、米国の製薬会社が同社の新型コロナウイルスのワクチンが高い有効性を示したと発表しました。その後間もなくして、同国の他の製薬会社や英国の製薬会社も同様に有望な臨床試験データを公表しました。このワクチンは新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）のスパイクタンパク質を標的としており、それが適切なアプローチであることは確認されたものの、一方で十分な量のワクチンを製造、保管、輸送し、それをどうやってできるだけ多くの人に投与するかという点が大きな課題として残っています。さらに、ワクチンによる重症化、入院死亡回避、無症状感染者によるウイルス拡散の予防、ウイルスが突然変異した場合の対処方法など、未解明な点も多数あります。当ファンドでは、パンデミック（世界的な大流行）が収束するまでには長ければ1年以上かかるかもしれないと考えています。

アジアのヘルスケアセクターでは、より多くのワクチン臨床試験データが出てくるにつれ、バイオテクノロジー銘柄や医薬品受託開発・製造企業／医薬品開発業務受託機関を中心として年末にかけて利益確定売りが見られると予想しています。しかし、ヘルスケアセクターは、アジアにおける構造的成長の柱の1つであることに変わりはありません。当ファンドでは、一部の分野の割高なバリュエーションが妥当な水準に戻れば投資家の関心は戻ってくるとみており、当面アジアの新型コロナウイルスの治療薬・ワクチン開発企業は、後期臨床試験を完了して規制当局への承認申請を行なっていくなか、株価が引き続き堅調に推移すると考えています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年6月23日～2020年12月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 57	% 0.576	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(12)	(0.121)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(44)	(0.439)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.015	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(1)	(0.013)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	58	0.591	
期中の平均基準価額は、9,918円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

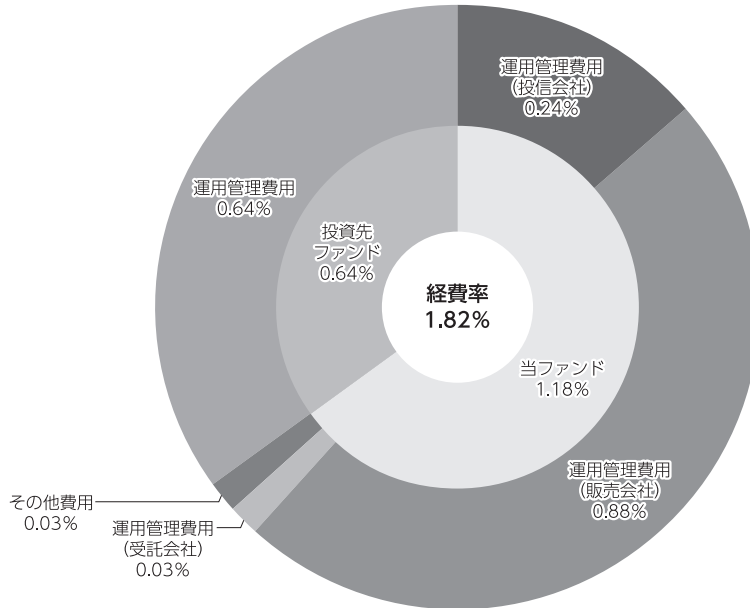
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.82%です。



(単位:%)

経費率(①+②)	1.82
①当ファンドの費用の比率	1.18
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.64

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年6月23日～2020年12月21日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド(JPYクラス)	千口	千円	千口	千円
		—	—	2,091,751	2,242,734

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2020年6月23日～2020年12月21日)

利害関係人との取引状況

<アジア・ヘルスケア株式ファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 2,242	百万円 2,242	% 100.0

<マネー・アカウント・マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年6月23日～2020年12月21日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年6月23日～2020年12月21日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2020年12月21日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		千口	千口	千円	%
日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド (JPYクラス)		12,887,392	10,795,641	12,649,252	98.5
合 計		12,887,392	10,795,641	12,649,252	98.5

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド		10,189	10,189	10,213

(注) 親投資信託の2020年12月21日現在の受益権総口数は、1,108,515千口です。

○投資信託財産の構成

(2020年12月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	12,649,252	97.4
マネー・アカウント・マザーファンド	10,213	0.1
コール・ローン等、その他	329,433	2.5
投資信託財産総額	12,988,898	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年12月21日現在)

○損益の状況 (2020年6月23日～2020年12月21日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	12,988,898,769
コール・ローン等	277,952,841
投資信託受益証券(評価額)	12,649,252,697
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	10,213,535
未収入金	51,479,696
(B) 負債	147,756,928
未払解約金	70,662,702
未払信託報酬	73,668,927
未払利息	118
その他未払費用	3,425,181
(C) 純資産総額(A-B)	12,841,141,841
元本	11,650,274,005
次期繰越損益金	1,190,867,836
(D) 受益権総口数	11,650,274,005口
1万円当たり基準価額(C/D)	11,022円

(注) 当ファンドの期首元本額は13,868,505,890円、期中追加設定元本額は1,055,774,141円、期中一部解約元本額は3,274,006,026円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.1022円です。

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	107,702,729
受取配当金	107,732,660
受取利息	42
支払利息	△ 29,973
(B) 有価証券売買損益	1,982,276,125
売買益	2,218,364,782
売買損	△ 236,088,657
(C) 信託報酬等	△ 75,555,559
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,014,423,295
(E) 前期繰越損益金	△ 966,785,745
(F) 追加信託差損益金	143,230,286
(配当等相当額)	(323,916)
(売買損益相当額)	(142,906,370)
(G) 計(D+E+F)	1,190,867,836
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	1,190,867,836
追加信託差損益金	143,230,286
(配当等相当額)	(323,916)
(売買損益相当額)	(142,906,370)
分配準備積立金	1,047,637,550

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2020年6月23日～2020年12月21日)は以下の通りです。

項 目	2020年6月23日～ 2020年12月21日
a. 配当等収益(経費控除後)	103,810,440円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	943,827,110円
c. 信託約款に定める収益調整金	143,230,286円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,190,867,836円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	1,022円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	0円
------------------	----

○お知らせ

約款変更について

2020年6月23日から2020年12月21日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド(J P Yクラス)	
	シンガポール籍円建外国投資信託	
運用の基本方針		
基本方針	信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主な投資対象	日本を除くアジアの医療関連企業の株式(預託証券を含みます。)を主要投資対象とします。	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・日本を除くアジアの医療関連株式(預託証券を含みます。)を主要投資対象とします。 ・運用にあたっては、ボトムアップの企業分析とトップダウンのマクロ見通しを融合して、ポートフォリオを構築します。 	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合に制限を設けません。 ・一の発行体に対する投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・証券の空売りは行ないません。 	
収益分配	原則として、毎年6月12日と12月12日(休日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。なお、運用会社の判断により収益分配を行なわないことがあります。	
ファンドに係る費用		
信託報酬など	純資産総額に対して年率0.65% (国内における消費税等相当額はかかりません。)	
申込手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
その他		
運用会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド	
信託期間	無期限	
決算日	原則として、毎年12月末日	

◆ポートフォリオ明細表

日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド

2019年12月31日現在

地域別（第一区分）	数量	公正価値 シンガポール・ドル	受益者に帰属 する純資産に 占める割合 %
上場株式			
中国			
Beigene Limited	237,300	4,095,089	2.94
Beigene Limited ADR	18,314	4,081,943	2.93
Chongqing Zhifei Biological Products Company Limited	183,700	1,761,116	1.26
CSPC Pharmaceutical Group Limited	3,698,000	11,857,093	8.52
Genscript Biotech Corporation	748,000	2,284,759	1.64
Hansoh Pharmaceutical Group Company Limited	508,000	2,270,540	1.63
Hualan Biological Engineering Incorporated	209,600	1,422,292	1.02
Innovent Biologics Incorporated	434,500	1,990,765	1.43
Jiangsu Hengrui Medicine Company Limited	91,884	1,552,456	1.12
Pharmaron Beijing Company Limited	200,000	1,501,360	1.08
Shanghai Kindly Medical Instruments Company Limited	340,200	1,822,894	1.31
Shanghai Pharmaceuticals Holding Company Limited	1,352,100	3,537,314	2.54
Sinopharm Group Company Limited	1,343,200	6,594,601	4.74
WuXi AppTec Company Limited	128,000	2,134,899	1.53
WuXi Biologics Cayman Incorporated	101,000	1,719,428	1.24
Zai Lab Limited	38,718	2,165,239	1.56
中国合計		50,791,788	36.49
香港特別行政区			
Alibaba Health Information Technology Limited	4,028,000	6,256,012	4.49
Beijing Tong Ren Tang Chinese Medicine Company Limited	868,000	1,761,541	1.27
China Traditional Chinese Medicine Holdings Company Limited	4,218,000	2,736,907	1.97
Hutchison China Meditech Limited	167,654	5,651,611	4.06
Sino Biopharmaceutical Limited	2,221,500	4,178,673	3.00
香港特別行政区合計		20,584,744	14.79
インド			
Alkem Laboratories Limited	50,286	1,894,637	1.36
Cipla Limited	400,000	3,603,361	2.59
Divi's Laboratories Limited	44,251	1,532,378	1.10
Dr Reddy's Laboratories Limited	99,636	5,395,408	3.88
Fortis Healthcare Limited	731,644	1,824,845	1.31
Sun Pharmaceutical Industries Limited	418,353	3,408,924	2.45
Torrent Pharmaceuticals Limited	55,846	1,945,266	1.40
インド合計		19,604,819	14.09
マレーシア			
IHH Healthcare Berhad	2,367,100	4,256,277	3.06
マレーシア合計		4,256,277	3.06

地域別（第一区分）（続き）

	数量	公正価値 シンガポール・ドル	受益者に帰属 する純資産に 占める割合 %
上場株式（続き）			
韓国			
Celltrion Healthcare Company Limited	58,511	3,605,704	2.59
Celltrion Incorporated	49,524	10,451,270	7.51
Genexine Company Limited	38,451	2,798,715	2.01
Hanmi Pharm Company Limited	11,569	3,995,112	2.87
Macrogen Incorporated	50,000	1,441,778	1.03
Medy-Tox Incorporated	7,313	2,558,553	1.84
Samsung Biologics Company Limited	17,326	8,722,941	6.27
韓国合計		<u>33,574,073</u>	<u>24.12</u>
タイ			
Bangkok Dusit Medical Services Public Company Limited	2,557,900	2,985,445	2.15
Bumrungrad Hospital Public Company Limited	257,800	1,701,189	1.22
Chularat Hospital Public Company Limited	14,081,300	1,643,495	1.18
タイ合計		<u>6,330,129</u>	<u>4.55</u>
上場株式合計		<u>135,141,830</u>	<u>97.10</u>
投資ポートフォリオ その他純資産		135,141,830 4,042,434	97.10 2.90
受益者に帰属する純資産		<u>139,184,264</u>	<u>100.00</u>

地域別(要約)	受益者に帰属 する純資産に 占める割合 %
上場株式	
中国	36.49
香港特別行政区	14.79
インド	14.09
マレーシア	3.06
韓国	24.12
タイ	4.55
上場株式合計	<u>97.10</u>
投資ポートフォリオ	97.10
その他純資産	<u>2.90</u>
受益者に帰属する純資産	<u>100.00</u>

業種別(第二区分)

	公正価値 シンガポール・ドル	受益者に帰属 する純資産に 占める割合 %
バイオテクノロジー	33,487,148	24.06
ヘルスケア - 製品	3,264,672	2.34
ヘルスケア - サービス	24,806,349	17.82
医薬品	73,583,661	52.88
投資ポートフォリオ	135,141,830	97.10
その他純資産	4,042,434	2.90
受益者に帰属する純資産	139,184,264	100.00

◆損益計算書

日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド

2019年12月31日に終了した会計年度

	2019年 シンガポール・ドル
収益	
受取配当	1,069,966
現金および銀行残高に係る受取利息	99,779
	<u>1,169,745</u>
費用	
運用報酬	867,494
登録費用	2,566
受託者報酬	40,371
保管報酬	45,028
監査報酬	26,545
評価報酬	53,828
取引費用	482,327
その他費用	69,507
	<u>1,587,666</u>
純損失	<u>(417,921)</u>
投資に係る純(損失)利益	
投資に係る純利益	11,905,183
純為替差損	(310,604)
	<u>11,594,579</u>
税引前当期利益合計	11,176,658
所得税	(57,647)
税引後当期利益合計	<u>11,119,011</u>

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第11期（決算日 2020年10月12日）
（2019年10月16日～2020年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行いません。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落 率	中 率		
7期(2016年10月12日)	円		%	%	百万円
	10,042		△0.0	—	483
8期(2017年10月12日)	10,038		△0.0	—	661
9期(2018年10月12日)	10,032		△0.1	—	595
10期(2019年10月15日)	10,028		△0.0	—	586
11期(2020年10月12日)	10,025		△0.0	—	888

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落 率	率
(期 首) 2019年10月15日	円		%
	10,028		—
10月末	10,028		0.0
11月末	10,027		△0.0
12月末	10,027		△0.0
2020年1月末	10,027		△0.0
2月末	10,027		△0.0
3月末	10,026		△0.0
4月末	10,026		△0.0
5月末	10,026		△0.0
6月末	10,026		△0.0
7月末	10,025		△0.0
8月末	10,025		△0.0
9月末	10,025		△0.0
(期 末) 2020年10月12日	10,025		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2019年10月16日～2020年10月12日)

基準価額の推移

期間の初め10,028円の基準価額は、期間末に10,025円となり、騰落率は△0.0%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.01%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.02%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.29%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.09%近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

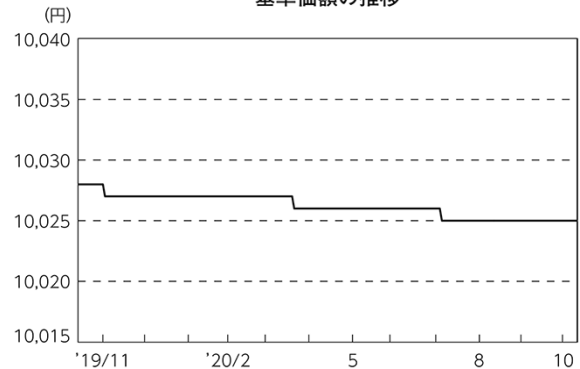
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2019/10/15	2019/10/16	2020/07/06	2020/10/12
10,028円	10,028円	10,025円	10,025円

○1万口当たりの費用明細

(2019年10月16日～2020年10月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,026円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年10月16日～2020年10月12日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2019年10月16日～2020年10月12日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
金銭信託	百万円 361	百万円 361	% 100.0	百万円 361	百万円 361	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年10月16日～2020年10月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2020年10月12日現在)

2020年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2020年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	888,950	100.0
投資信託財産総額	888,950	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年10月12日現在)

項	目	当	期	末
				円
(A)	資産			888,950,866
	コール・ローン等			888,950,866
(B)	負債			185,817
	未払解約金			185,618
	未払利息			199
(C)	純資産総額(A-B)			888,765,049
	元本			886,572,186
	次期繰越損益金			2,192,863
(D)	受益権総口数			886,572,186口
	1万口当たり基準価額(C/D)			10,025円

(注) 当ファンドの期首元本額は585,356,899円、期中追加設定元本額は443,707,365円、期中一部解約元本額は142,492,078円です。

(注) 2020年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル・プロスペクティブ・ファンド	564,936,421円	・ノーロード・インド株式フォーカス(毎月分配型)	894,225円
・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	179,574,045円	・欧州社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	876,496円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーブルファンド)	16,871,891円	・インデックスファンドMLP(1年決算型)	837,936円
・アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	16,766,944円	・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジあり	759,593円
・エマージング・プラス(マネーブルファンド)	10,195,083円	・日興グラビティ・ファンド	685,725円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	10,189,082円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	549,122円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース>(毎月分配型)	8,406,295円	・グローバルCOC債ファンド 新興国高金利通貨コース	467,512円
・世界標準債券ファンド	7,424,643円	・欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	347,673円
・インデックスファンドMLP(毎月分配型)	7,327,059円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	318,532円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	6,785,094円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	315,849円
・アジアリートファンド(毎月分配型)	6,677,636円	・グローバルCOC債ファンド 先進国高金利通貨コース	288,963円
・RS豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>(毎月分配型)	120,020円
・アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	5,964,682円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマージング)	99,902円
・グローバルCOC債ファンド 円ヘッジコース	5,750,110円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォーカス(毎月分配型)	80,294円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	4,831,451円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジあり)	57,611円
・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなし	3,932,333円	・グローバル株式トップフォーカス	41,826円
・ビッグデータ新興国小型株ファンド(1年決算型)	3,237,572円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・オーストラリア・インカム株式ファンド(毎月分配型)	2,510,659円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・アジアREITオープン(毎月分配型)	2,316,490円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・グリーン世銀債ファンド	2,244,601円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)	18,822円
・SMBC・日興 世銀債ファンド	1,761,404円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>(毎月分配型)	1,402,012円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500) 為替ヘッジあり	9,967円
・エマージング・プラス・円戦略コース	1,267,559円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジあり)	9,958円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>(毎月分配型)	1,132,669円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジなし)	9,958円
・日興マネー・アカウント・ファンド	1,120,004円		
・グローバルCOC債ファンド ヘッジなしコース	1,108,192円		

(注) 1口当たり純資産額は1,0025円です。

○損益の状況

(2019年10月16日～2020年10月12日)

項	目	当	期
			円
(A)	配当等収益	△	201,655
	受取利息		491
	支払利息		△ 202,146
(B)	保管費用等	△	1,089
(C)	当期損益金(A+B)	△	202,744
(D)	前期繰越損益金		1,615,569
(E)	追加信託差損益金		1,156,878
(F)	解約差損益金	△	376,840
(G)	計(C+D+E+F)		2,192,863
	次期繰越損益金(G)		2,192,863

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2019年10月16日から2020年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。